

広島県告示第89号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

令和3年2月4日

広島県知事 湯 崎 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	東京都千代田区丸の内一丁目1番1号 三菱ケミカル株式会社 代表取締役 和賀 昌之
工場又は事業場の所在地及び名称	広島県大竹市御幸町20番1号 三菱ケミカル株式会社 広島事業所

2 申請の内容

33-ハ 合成樹脂製造業の用に供する遠心分離機2基を設置するとともに、33-ハ 合成樹脂製造業の用に供する遠心分離機2基を廃止する。また、71の2-イ 科学技術研究の用に供する洗浄施設41基を設置するとともに、71の2-イ 科学技術研究の用に供する洗浄施設3基を変更し、71の2-イ 科学技術研究の用に供する洗浄施設14基を廃止する。74 特定事業場から排出される水の処理施設1基の使用方法を変更する。さらに、汚水処理施設2基の汚水等の処理の方法を変更するとともに、排水口2基の排水の量を変更する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

(その1) 新設

種	類	33-ハ 合成樹脂製造業の用に供する遠心分離機 (B2N-1306-1, 2) 同型2基
能	力	55t/基・日
工	工事着手予定年月日	許可後直ちに

期等	工事完成予定年月日		着手後1ヶ月後		
	使用開始予定年月日		完成後直ちに		
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間/日, 連続 (季節的変動なし)		
	項 目		通常	最大	
	排出される汚水等	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		5.0~6.0	5.0~6.0
		(単位: mg/L)	化学的酸素要求量	69	118
			浮遊物質	170	170
			窒素含有量	29	64
			燐含有量	1	2
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		813	813	
汚水等の排出先		凝集沈殿処理施設			

(その2) 新設

種 類		71の2-イ 科学技術研究の用に供する洗浄施設 (2棟流し台 同型2基(2-1-2, 3))		
能 力		-		
工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日		着手後1ヶ月後	
	使用開始予定年月日		完成後直ちに	
使用	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8時~17時 8時間/日 (季節的変動なし)	
	項 目		通常	最大
	排等	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		6.5~8.5

の 方 法	出 さ れ る 汚 水 の 状 態	化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	30	60
		浮遊物質		1	3
		窒素含有量		30	60
		磷含有量		3	4
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		1	1	
汚水等の排出先		凝集沈殿処理施設			

(その3) 新設

種	類	71の2-イ 科学技術研究の用に供する洗浄施設 (広島研究所アクリル樹脂研究室1棟 同型17基(7樹1-1-22, 7樹1-2-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 15, 16, 17, 18))		
能	力	-		
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに		
	工事完成予定年月日	着手後7日後		
	使用開始予定年月日	完成後直ちに		
使 用	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	8時~17時 8時間/日 (季節的変動なし)		
	項	目	通 常	最 大
の 方 法	排 出 さ れ る 汚 水 の 状 態	水素イオン濃度 (単位：水素指数)	6.0~9.0	6.0~9.0
		化学的酸素要求量	30	60
		浮遊物質	1	10
		窒素含有量	30	60
		磷含有量	1	2

排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)	1	1
汚水等の排出先	凝集沈殿処理施設	

(その4) 新設

種	71の2-イ 科学技術研究の用に供する洗浄施設 (広島研究所アクリル樹脂研究室2棟 同型13基(7樹2-1-9, 10, 12, 14, 15, 7樹2-2-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8))				
能	-				
工期等	許可後直ちに		許可後直ちに		
	着手後7日後		着手後7日後		
	完成後直ちに		完成後直ちに		
使用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8時~17時 8時間/日 (季節的変動なし)		
	項 目		通 常	最 大	
	排出 され る 汚 水 の 状 態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		6.0~9.0	6.0~9.0
		(単位: mg/L)	化学的酸素要求量	30	60
			浮遊物質	1	10
			窒素含有量	30	60
			磷含有量	1	2
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		1	1	
汚水等の排出先		凝集沈殿処理施設			

(その5) 新設

種	類	71の2-イ 科学技術研究の用に供する洗浄施設 (広島研究所20棟 同型3基(20-1-1, 20-中2-1, 20-2-1))	
能	力	-	
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	着手後7日後	
	使用開始予定年月日	完成後直ちに	
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	8時~17時 8時間/日 (季節的変動なし)	
	項目	通常	最大
	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	6.0~9.0	6.0~9.0
	化学的酸素要求量	30	60
	浮遊物質質量	1	2
	窒素含有量	30	60
	燐含有量	1	2
	排出される汚水の量 (単位: m ³)	1	1
汚水等の排出先	凝集沈殿処理施設		

(その6) 新設

種	類	71の2-イ 科学技術研究の用に供する洗浄施設 (広島研究所重合中試室 同型3基(重中-中2-1, 重中-2-1, 2))	
能	力	-	
工期	工事着手予定年月日	許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	着手後7日後	

等	使用開始予定年月日		完成後直ちに		
使用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8時～17時 8時間/日 (季節的変動なし)		
	項 目		通 常	最 大	
	排出 等 の 状 態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		6.0～9.0	6.0～9.0
		化学的酸素要求量		30	60
		浮遊物質		4	6
		窒素含有量		30	60
		燐含有量		1	2
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		1	1	
汚水等の排出先		ボンネル第一排水口			

(その7) 新設

種 類	71の2-イ 科学技術研究の用に供する洗浄施設 (広島研究所資材中試室 同型3基(資中-1-1, 2, 3))			
能 力	-			
工 期 等	工事着手予定年月日		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日		着手後7日後	
	使用開始予定年月日		完成後直ちに	
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8時～17時 8時間/日 (季節的変動なし)	
	項 目		通 常	最 大
	排出 等	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		6.0～9.0
		化学的酸素要求量		30

方法	される状態の汚水	浮遊物質量	(単位： mg/L)	3	4
		窒素含有量		30	60
		燐含有量		1	2
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		1	1	
汚水等の排出先		ボンネル第一排水口			

(その8) 変更

		変更前		変更後	
種	類	71の2-イ 科学技術研究の用に供する洗浄施設 (広島研究所2棟 流し台(2-1-1))			
工期等	工事着手予定年月日	-		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	-		着手後1ヶ月後	
	使用開始予定年月日	-		完成後直ちに	
使用の 方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	8時~17時, 8時間/日 (季節的変動なし)			
	項目	通常	最大	通常	最大
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	7	7	5	5

(その9) 変更

		変更前		変更後	
種	類	71の2-イ 科学技術研究の用に供する洗浄施設 (広島研究所実験室2階3基 (室-2-1, 2, 3))		71の2-イ 科学技術研究の用に供する洗浄施設 (広島研究所アクリル樹脂研究室 1棟3基(ア樹1-2-13, 14, 19))	
工期	工事着手予定年月日	-		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	-		着手後7日後	

等	使用開始予定年月日	-		完成後直ちに	
使用 の 項	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	8時～17時, 8時間/日 (季節的変動なし)			
	目	通常	最大	通常	最大
方法	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m ³)	3.3	3.3	1	1

(その10) 変更

		変更前		変更後	
種	類	74 特定事業場から排出される水の処理施設 (凝集沈殿処理施設(共同処理施設 CA-001))			
工 期 等	工事着手予定年月日	-		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	-		着手後1ヶ月後	
	使用開始予定年月日	-		完成後直ちに	
使用 の 項	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	24時間/日, 連続 (季節的変動なし)			
	目	通常	最大	通常	最大
方法	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m ³)	35,504	36,634	35,503	36,633

(その11) 71の2-イ 科学技術研究の用に供する洗浄施設14基廃止

(その12) 33-ハ 合成樹脂製造業の用に供する遠心分離機2基廃止

(2) 汚水等の処理の方法

(その1) 変更

		変更前		変更後	
種	類	74 特定事業場から排出される水の処理施設 (凝集沈殿処理施設(共同処理施設 CA-001))			
能	力	42,000m ³ /日			

工期等	工事着手予定年月日	—				許可後直ちに			
	工事完成予定年月日	—				着手後1ヶ月後			
	使用開始予定年月日	—				完成後直ちに			
使用の方法	項目	処理前		処理後		処理前		処理後	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	35,506	36,636	35,504	36,634	35,505	36,635	35,503	36,633

(その2) 変更

		変更前				変更後			
種	類	PH調整溝							
能	力	56,000m ³ /日							
工期等	工事着手予定年月日	—				許可後直ちに			
	工事完成予定年月日	—				着手後1ヶ月後			
	使用開始予定年月日	—				完成後直ちに			
使用の方法	項目	処理前		処理後		処理前		処理後	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	44,130	45,275	44,130	45,275	44,129	45,274	44,129	45,274

(3) 排出水の汚染状態

(その1) 変更

排水口名	項目	変更前		変更後	
		通常	最大	通常	最大
処理第1排水口	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	86,966	88,934	86,965	88,933

(その2) 変更

排水口名	項 目	変更前		変更後	
		通 常	最 大	通 常	最 大
ボンネル 第1排水口	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	43,484	54,398	43,480	54,395

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

令和3年2月4日から令和3年2月25日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部厚生環境事務所環境管理課並びに大竹市環境整備課